＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	県南の家
グループの名称	県南の木を利用する会
直近採択グループ番号	06-0135-0104

（グループ代表者）

代表者名	竹内　靖浩　　代表者印
代表者所属先	合資会社　高梨製材所
代表者所在地	秋田県大仙市高梨
代表者電話番号	0187-63-0700

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社高英　プレカット事業部
事務局担当者名	黒澤　聡　　印
事務局郵便番号	019-1404
事務局所在地	秋田県仙北郡美郷町六郷字小安門200
事務局電話番号	0187-84-4111
事務局FAX	0187-84-4112
事務局担当者E-mail	kurosawa@takahide.co.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	県南の家
２．グループの名称(必須)	県南の木を利用する会
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0135-0104
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	秋田県 岩手県
５．結成年(必須)	2016　年
６．グループ代表者名(必須)	竹内　靖浩
７．グループ代表者の所属先(必須)	合資会社　高梨製材所
８．グループ代表者所在地(必須)	秋田県大仙市高梨
９．グループ代表者電話番号(必須)	0187-63-0700
１０．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社高英　プレカット事業部
１１．グループ事務局担当者名(必須)	黒澤　聡
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	019-1404
１３．グループ事務局所在地(必須)	秋田県仙北郡美郷町六郷字小安門200
１４．グループ事務局電話番号(必須)	0187-84-4111
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	0187-84-4112
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	kurosawa@takahide.co.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	2	
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	4	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	5	
Ⅳ．プレカット	1	
Ⅴ．設計	9	
Ⅵ．施工	11	
Ⅶ．木材を扱わない流通	2	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外
	乾燥秋田杉認証制度	秋田県	都道府県の生産認証制度等によるもの	1	国内

Ｂ．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上））の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限125万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限125万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限140万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限140万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	0	棟
			0	㎡
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0	棟
			0	㎡

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	?受注が確実視されている工務店 ?長期優良住宅の経験がない工務店

E. 平成２９年度の執行状況（必須）	長寿命型（長期優良住宅）									
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸	
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）									
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸	
	高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）									
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸	
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）									
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸	
	優良建築物型									
	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	0	戸	
	採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積	0	㎡	

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
5	Ⅰ － 1	北日本索道 株式会社		012-0181	秋田県湯沢市皆瀬字二ツ石95-5	0183-46-2221
5	Ⅰ － 22	仙北西森林組合		019-1701	秋田県大仙市神宮寺字中川原37番地1号	0187-73-7163
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －				

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
34	Ⅱ － 3	中国木材株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷３－１－１	0823-71-7141
5	Ⅱ － 4	株式会社 ウッドミル		011-0916	秋田県秋田市飯島穀丁大谷地２５９－１	018-880-5515
5	Ⅱ － 5	合資会社 高梨製材所		014-0805	秋田県大仙市高梨字田茂木６５	0187-63-0700
5	Ⅱ － 6	高英フォレスト 株式会社		019-1404	秋田県仙北郡美郷町六郷字小安門８６－１	0187-84-3012
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅲ＞

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
5	Ⅲ － 5	合資会社 高梨製材所		014-0805	秋田県大仙市高梨字田茂木６５	0187-63-0700
5	Ⅲ － 6	高英フォレスト 株式会社		019-1404	秋田県仙北郡美郷町六郷字小安門８６－１	0187-84-3012
5	Ⅲ － 7	山ニ建設資材 株式会社		010-1415	秋田県秋田市御所野湯本３－１－５	0188-26-0300
2	Ⅲ － 8	株式会社 吉田産業		031-8655	青森県八戸市大字廿三日町２	0178-47-8111
13	Ⅲ － 9	株式会社 高英		135-0022	東京都江東区三好３－２－２５	03-3642-1047
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
13	Ⅳ － 9	株式会社 高英		135-0022	東京都江東区三好３－２－２５	03-3642-1047
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ｖ＞

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
13	Ｖ － 9	株式会社 高英		135-0022	東京都江東区三好３－２－２５	03-3642-1047	○	
5	Ｖ － 10	株式会社 シーモワオカダデザイン		019-1404	秋田県仙北郡美郷町六郷字小安門８４	0187-84-2365	○	
5	Ｖ － 11	有限会社 アベ建		012-0104	秋田県湯沢市駒形町字東福寺沖５番地１５	0183-42-4378	○	
5	Ｖ － 12	興栄建設 株式会社		014-0072	秋田県大仙市大曲西根字西道地野５０２番地２	0187-68-2288	○	
5	Ｖ － 13	倉田一級建築設計事務所		019-1603	秋田県大仙市太田町中里字二十日町２４７－５	0187-88-1566		○
5	Ｖ － 14	有限会社佐々木工務店		019-2334	秋田県大仙市木原田字中野１５３	0187-72-2708		○
5	Ｖ － 18	日天建設株式会社		014-0341	秋田県仙北市角館町雲然荒屋敷２９０－７	0187-55-5750	○	
5	Ｖ － 20	小松建築		019-1702	秋田県大仙市北楢岡字道目木７－１	0187-72-3141		○
5	Ｖ － 21	茂木建設 株式会社		014-0113	秋田県大仙市堀見内字下田茂木２５－２	0187-69-2710		○
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）							11	○	○
5	Ⅵ － 6	70696	高英フォレスト 株式会社		019-1404	秋田県仙北郡美郷町六郷字小安門86－1	0187-84-3012		○
5	Ⅵ － 10	70638	株式会社 シーモワオカダデザイン		019-1404	秋田県仙北郡美郷町六郷字小安門84	0187-84-2365		○
5	Ⅵ － 11	70744	有限会社 アベ建		012-0104	秋田県湯沢市駒形町字東福寺沖5番地15	0183-42-4378	○	
5	Ⅵ － 12	70691	興栄建設 株式会社		014-0072	秋田県大仙市大曲西根字西道地野502番地2	0187-68-2288		○
5	Ⅵ － 14	70801	有限会社佐々木工務店		019-2334	秋田県大仙市木原田字中野153	0187-72-2708		○
5	Ⅵ － 15	70725	池田建設		019-2112	秋田県大仙市刈和野字田中95－1	0187-75-1259	○	
5	Ⅵ － 16	70706	三浦工務店		019-0805	秋田県大仙市高梨字柳田208	0187-63-3626		○
5	Ⅵ － 17	70775	有限会社 鷹觜建築		019-1404	秋田県仙北郡美郷町天神堂字天川120	0187-82-1900		○
5	Ⅵ － 18	70736	日天建設株式会社		014-0341	秋田県仙北市角館町雲然荒屋敷290－7	0187-55-5750	○	
5	Ⅵ － 20		小松建築		019-1702	秋田県大仙市北楢岡字道目木7－1	0187-72-3141		○
5	Ⅵ － 21		茂木建設 株式会社		014-0113	秋田県大仙市堀見内字下田茂木25－2	0187-69-2710		○
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工－2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
5	Ⅵ － 6	70696	高英フォレスト 株式会社	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
5	Ⅵ － 10	70638	株式会社 シーモワオカダデザイン	1 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
5	Ⅵ － 11	70744	有限会社 アベ建	5 戸	3 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
5	Ⅵ － 12	70691	興栄建設 株式会社	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
5	Ⅵ － 14	70801	有限会社佐々木工務店	6 戸	4 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
5	Ⅵ － 15	70725	池田建設	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
5	Ⅵ － 16	70706	三浦工務店	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
5	Ⅵ － 17	70775	有限会社 鷹觜建築	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
5	Ⅵ － 18	70736	日天建設株式会社	8 戸	8 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
5	Ⅵ － 20		小松建築	3 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
5	Ⅵ － 21		茂木建設 株式会社	8 戸	8 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡		

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
5	Ⅶ － 7	山ニ建設資材 株式会社		010-1415	秋田県秋田市御所野湯本３－１－５	0188-26-0300
5	Ⅶ － 19	有限会社 サカエトーヨー		013-0064	秋田県横手市赤坂字荒沼１２９－１	0182-33-8370
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －				

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）県南の家	（地域型住宅供給対象地域）秋田県 岩手県
2．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称）県南の木を利用する会	（結成年）2016 年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0135-0104	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	対象地域は多雨多湿で夏は高い山を越えて平野部に吹き降りる暖かい風により高温になりやすく、冬は大陸の寒気が吹き寄せ気温が下がる厳しい環境にあります。その為に温暖差をなくし、年間を通して快適な住環境を目指す。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	通風解析等を基に、住まい手と協議して開口部の位置を決定することで、夏の暑さや湿気、冬の寒さを出来るだけ考慮して設計する。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	夏の日差しを遮る軒の出、風害・凍害に耐える外装材、屋根材の選定。雪害に対応した屋根形状をデザインする。	○
④ ①～③の背景	対象地域は多雨・多湿・多雪である。面積の約70%が森林である豊かな地域であり、県内産木材の普及・利用促進を図るため、乾燥秋田スギ認証制度が設けられている。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	住まい手が安心して住まいづくりに取り組めるように、設計事業者・施工事業者がコミュニケーションをとり、重要事項を確認しながら信頼関係を築く家とする。	◎

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：各地域の地産で流通量の多い規格を出来るだけ利用する。	○
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：各地域の地産で流通量の多い規格を出来るだけ利用する。推奨建材リストを作成する。	○
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：使用頻度の高い材料を一覧にし、その一覧を共有することで標準化をすすめる。	○
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：着工予定物件の情報を事務局に集中し、建材・資材については各メンバーとの連携で確実な納入を確保する。	○
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：部材ごとの購入品目リストに従い、発注業務の簡素化をすすめる。	◎
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：生産の合理化委員会を設け、新商品・新工法の検討を継続的に行い、各委員からの知識を底上げする。	○
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容：木材関連業者・流通業者などから情報を収集し、設計・施工メンバーに伝える。また、施工業者個々の課題を把握できるように努める。	○
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容：一般社団法人JBNが工程順に現場管理の要点をまとめ編集した実践手引書「木造住宅工事監理の実務」の活用を施工業者に推奨する。	○
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容：長寿命型の場合、施工業者は第三者機関が長期優良住宅で使用する「施工状況報告書」等の確認項目において自主検査を行う。	◎
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある →	内容：材料・数量・単価を明確に表記する。	◎
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある →	内容：事務局は地域型住宅グリーン化事業の特徴やメリットが有ることを発信し、消費者の信頼向上に努める。	◎
c	① 週休2日制の導入の取組	□ ない	■ ある →	内容：完全ではないが出来るだけ取れる体制作りに取り組んでいる。	○
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある →	内容：資格取得などを推奨しており、取得内容により処遇の改善に向かっている。	○
	③ 社会保険への加入	□ ない	■ ある →	内容：全ての従業員が保険加入としている。	◎
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	□ ある →	内容：無理な残業や長時間に及ぶ連続作業は、控える体制を敷いている。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	工務店が地域型住宅の建設に取り組むために長期優良住宅の認定を行う場合にサポート・アドバイスをする。				○

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）県南の家	（地域型住宅供給対象地域）秋田県 岩手県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）県南の木を利用する会	（結成年）2016　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0135-0104	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】							◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：	建築主、工務店、事務局で共有保管する。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	■ ない	□ ある →	内容：	JBNのサービス等を検討中です。	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：	長期維持管理計画書を使用し、工務店と事務局が定期点検を行う。	◎
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：	JBN「住まいの定期点検・補修記録シート」を参考に指示管理計画を作成する。	◎
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：	JBN「住まいの定期点検・補修記録シート」を参考に指示管理計画を作成する。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：	維持管理計画をもとに作成した点検シートを使用し、その蓄積によって実施の確認書類とする。	○
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：	住宅の引き渡し時に「JBN住まいの管理手帳　戸建編」を用いて説明し理解してもらう。	○
		③-2 DIY体験会等の実施	■ ない	□ ある →	内容：		
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：	必要に応じて実施を検討する。	○
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：	維持管理検討委員会を設置し、施工業者が住まい手に診断、点検、修繕を継続的に提供できる体制を検討し、会員に報告する	○
	⑤	その他の維持管理の手法	□ ない	■ ある →	内容：	事務局が住宅の維持管理について相談窓口の機能を持つ。	◎
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：	担当事業者が倒産・廃業の止む無き時に至った場合には、代表及び事務局が施主様に説明し、適切な代替事業者をメンバー内より紹介し、継続的な維持管理を行う。	◎
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：	住宅瑕疵担保責任保険法人を原則利用する事としており、適時、学ぶ機会を設ける。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。							

エ．グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】							◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：	事務局が主体となり長期優良住宅の認定基準の性能基準に関する勉強会を開催する。	○
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：	各委員会を中心とし、品質管理計画を作成し標準化させる。	◎
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：	各委員会ごとに月一回程度の割合でヒアリングを行い確認する。	○
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：	各メンバーの受注予定物件の情報を収集し、資材調達の情報を照らし合わせ、より合理的な需給計画の策定方法を探る。	○
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：	上記計画に併せて、更に主要構成員の見込み客情報の掌握をし、供給の見通しを把握していく。	◎
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容：	設計・流通・施工の各事業者相互の改善及び合理化案をまとめ、事務局を中心に共有化出来る仕組みを検討する。	○
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数		今年度の参加目標人数	全員	○
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数		今年度の参加目標人数	全員	○
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：	未受講者に対して開催時期の案内などの情報を提供し、早期受講を促す。	◎
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容：	建材・資材メーカーと連携し、技術提案や新商品情報などの勉強会を実施する。	○
	②	新たな技術等の開発	□ ない	■ ある →	内容：	スマートタウン・ハウス等の見学会を検討する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。							

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－３＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）県南の家	（地域型住宅供給対象地域）秋田県 岩手県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）県南の木を利用する会	（結成年）2016 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0135-0104	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	使用する地域材はコスト・品質・強度等を考慮し、合法木材・製品、各認証木材・製品の使用も認める。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材 土台：■ 使用していない　□ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等：□ 使用していない　■ 使用している 造作材 枠材、廻縁等：□ 使用していない　■ 使用している 板材 壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	○
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	地域材の流れを作成し、各メンバー及び施主様に説明する。　原木の一部に関しては住まい手所有の山からの切り出しが有るために、地域材の認証制度を取得できない場合も可能性として考えられる。地域材を50%以上使用することが最低条件であるが、国産材を積極的に使用する事とし、内装・造作材においても羽目板・フローリングなどに利用することを推進する。	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある → 内容：変動が有る場合は、事務局が中心となり各構成員い伝達する。	○
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある → 内容：流通業者は事前にプレカット工場、製材工場、原木供給業者と連携することにより在庫量・価格等をある程度、共有する事が出来る。	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：事務局が中心となり、着工予定日、延べ床面積を確認し、地域材の供給事業者グループに情報提供することにより予測を立て、情報を共有する。	◎
c	①-1 畳の活用	■ 行っていない　■ 行っている→ 内容：出来るだけ利用するように進める。	
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	①-3 襖の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：出来るだけ利用するように進める。	○
	①-4 障子の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：出来るだけ利用するように進める。	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：秋田杉の床材・壁材への利用を検討する。	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：木工建具材の利用を推進する	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：景観地域指定地区等を参考にしながら、伝統的なものを継承し現代のデザインに反映させる。	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：地域の住宅デザインを考慮し、伝統的な要素を現代の暮らしに取り入れた提案を積極的に行う。	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：自治体の定める街並み・警官等の条例に配慮しながら積極的にすすめる。	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：縁側、畳コーナー等、和の要素を取り入れる提案を心掛ける。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組		
平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称） 県南の家	（地域型住宅供給対象地域） 秋田県 岩手県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称） 県南の木を利用する会	（結成年） 2016 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0135-0104	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。